



**名前** | O・A さん  
**学科** | 国際関係学科  
**卒業年月** | 2020年3月  
**企業名** | 株式会社荏原製作所  
 エネルギーカンパニー製品部  
 製品営業第二課  
**仕事内容** |  
 石油化学プラントで使用するポンプの海外営業



▲1921年に完成したポンプで、今は本社一階に展示されています。当時はほぼ手作業でこれを完成させたそうです。高さ、幅ともに3m以上あります。その大きさにはいつも圧倒されます。

◀千葉の富津にある工場の会議室から見える富士山です。冬の晴れた日は本当にきれいに見えます。海外のお客様とのアイスブレイクにはうってつけのネタです。

## 現在の状況

2020年4月に入社し、主に韓国、ヨーロッパのお客様を相手に、石油化学プラントで使用されるポンプの海外営業の仕事をしています。今年で入社4年目になりますが、ずっと海外営業部にいるので、日本のお客様とはほとんど仕事をしたことがありません。メールも会議も全部英語なので、ある意味、外大卒っぽい営業の仕事をしているのかなと思います。COVID19の影響もあり、まだ海外出張に行ったことが無いので、今追いかけている案件を受注し、今年こそは海外出張に行けるように日々頑張っています。

## 社会人になって感じたこと

学生時代の経験は一生ものだなということです。留学、部活、アルバイト、もちろん講義も含めて、高校生の時とは比べ物にならない数の「機会」にめぐり逢います。その時々でどう考え、どう行動したか、何を身につけ、何を失ったかを振り返ってみると、無意識のうちに自分の仕事のスタイルや考え方に繋がっていると感じています。

## 大学生活を振り返って

外大は“当たり前”のレベルが高かったと思います。部活・サークルなどを4年間、5年間続け、それに加えて留学やバックパッカーに行く人が何人もいました。当時はそれが当たり前でしたが、会社にはそんな人はほとんどいません。自分の人間力を上げるには素晴らしい環境だったと思います。

## 就職活動時の印象に残った出来事

世の中には無数の企業があり、その選択肢の多さに自分を見失ったことです。いわゆる自己分析が浅かったので、様々な企業の説明会に出席しているうちに、何がしたいか分からなくなりました。改めて自分を見つめ直して、最終的には今いる会社に出会い、海外に「日本製のモノ」を売るという自分の軸に合った、とてもいい環境で仕事が出来ています。

## 後輩へのエール

就職は一生に一回のイベントでは無いので、肩の力を抜いて楽しんでください。自信をもって臨めば、いい結果につながると思っています。自分と良く向き合って、たくさん悩んで、悔いのない選択をしてください。そして、外大生でいられる残りの時間を存分に楽しんでください。

## ある日のスケジュール

9:00	メールチェック TO DO の整理	
10:00	課会	毎週実施しています。受注状況や案件状況を確認し、課員と共有します。
11:00	新規案件の引合確認と 社内展開	引合のパッケージの中に様々な書類が大量にあります。何をどう見積もるのか、適用規格、プロジェクトスケジュールや背景などを確認し、社内へ展開します。
12:00	ランチ	本社の11階に食堂があります。東側は羽田空港を一望でき、西側は富士山が望めるという抜群のロケーションです。
13:00	受注したアイテムの 出荷対応	お客様によって輸出時に求められる書類や、フォーマットが違うので、都度お客様と工場と話しながら調整して出荷を進めます。
14:00	打合せ資料の 最終チェック	
15:00	見積対応している案件 について、お客様と打 合わせ	提出している技術資料についてコメントをいただいたり、仕様の詳細をエンジニアを交えて議論します。妥協する所と、譲れない部分のバランスが難しいです。
16:00		
17:00	議事録の作成	議事録を作成し、今後のTo Doと時間軸を整理し、社内展開します。
18:00	帰宅	最近はランニングとジムにはまっています。ただ、時差の都合上、19時、20時スタートの打合せもあり、海外営業のつらいところですが、割り切ってやっています。